

2025年1月19日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第43号(通算3425号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

降誕節

だい しゅじつれいはい
第4主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙祷)

ちよさくけんしょうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しよ
エゼキエル書

しよ せつ
2章 1-2節

さんびか
賛美歌

ばん か ぬし しゅ
21-459番「飼い主わが主よ」(©讚美歌編集委員会)

せいしよ
聖書

ふくいんしよ
マタイによる福音書

しよ せつ
4章 18-25節

いの
お祈り

さんびか
賛美歌

ばん しゅ まね こえ
21-516番「主の招く声が」(©JASRAC)

メッセージ

わたし いっしょ き
「私と一緒に来てください」

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんびか
賛美歌

ばん
21-418番「キリストのしもべたちよ」(©讚美歌委員会)

しゅいの
主の祈り

ばん てん
21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物(*)

はけん
派遣

ばん かみ めぐ う
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく
祝福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こうそう
後奏

ばん
アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

ページ さんしょう
(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 エゼキエル 2章 1-2節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹主は私に言われた。「人の子よ、自分の足で立ちなさい。私はあなたに語ろう。」
²主が語られたとき、霊が私の中に入り、私を自分の足で立たせた。私は、語りかける者に耳を傾けた。

聖書 マタイによる福音書 4章 18-25節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹⁸ イエスは、^aガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、^b湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。¹⁹ イエスは、「私に付いて来なさい。^c人間をとる漁師にしよう」と言われた。²⁰ 二人はすぐに網を捨てて従った。

²¹ そこから進んで、別の二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父ゼベダイと一緒に、舟の中で網の手入れをしているのを御覧になり、二人をお呼びになった。²² 彼らはすぐに舟と父を残して、イエスに従った。

²³ イエスはガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民衆のありとあらゆる病気や患いを癒やされた。²⁴ そこで、イエスの評判がシリア中に広まり、人々がイエスのところへ、いろいろな病気や痛みを苦しむ者、悪霊に取りつかれた者、発作に悩む者、体の麻痺した者など、あらゆる病人を連れて来たので、これらの人々を癒やされた。²⁵ こうして、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、さらにヨルダン川の向こう側から、大勢の群衆が来てイエスに付いて行った。

(脚注 a：直訳「ガリラヤの海辺」、b：直訳「海」)
(注 c：参照 エレミヤ書 16:16、エゼキエル書 29:4-5)



《先週のメッセージより》2024年1月12日

「まじ BIG LOVE」

水谷憲牧師

聖書 マタイによる福音書 3章 16-17節

高3の娘が「BeReal (ビーリアル)」に夢中。Z世代もいろいろと楽しそう。今から約20年前には、東京の渋谷を中心として「マンバ」と呼ばれる若い女性たちがいた。源流は1998年に突然登場した「ガングロ」。茶髪にミニスカート、厚底ブーツ、日焼けサロンで焼いた黒い顔の女子高校生たち。社会に対する反抗的な性格。ガングロギャルはその後「ゴングロ」「ヤマンバ」へと進化し、2000年夏頃にさらに過激な「アマゾネス」へと発展を遂げたが、そのガングロ以上の攻撃性が受け入れられず、一気に衰退したといわれている。しかし、絶滅したかに見えたガングロたちは数年後、ヤマンバのさらなる進化形「マンバ」として復活した。ある研究によると、ガングロが活動していたのは、リストラが当たり前、実力主義・「勝ち組負け組」の価値観がもてはやされ始めた頃で、彼女たちはリストラに怯える情けない社会への反発を体現していたのだという。一方マンバは、実力主義・競争重視の社会に抵抗があるものの、ガングロのように攻撃的にならず、仲間との協調・平和による「小さな幸せ」によって、そんな社会を否定しようとしたのだと。似て非なり。

イエスが洗礼を受けた時「これは私の愛する子、私の心に適う者」という声が天から聞こえたという。これは神のイエスに対する宣言だが、私たち皆もこの声を神からかけられているのではないか。「私の心に適う者」、直訳では「私はこれを喜ぶ」。つまり「あなたは私の愛する子。私はこれを喜んでいる、あなたのことを喜んでいる」という宣言。息子や娘がどんなにろくでなしでも、生まれた時は「よかったね」と無条件で喜んでいて、親である私たちの心情そのもの。サムエル記上16章には、預言者サムエルがベツレヘムのエッサイを訪ね、彼の息子たちの中からイスラエルの王となるべき人物を探す場面がある。その際に神はサムエルに言う。「容姿や背の高さに目を向けるな。私は彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る」。この言葉、私たちも忘れないようにしたい。私たちは、人からの評価はどうあれ、神に「あなたは私の愛する子、私はあなたのことを喜んでいる」と言ってもらっているのだ。Z世代のギャル語「BIG LOVE (びっぐらぶ)。「大好き」「愛してる」「ありがとう」などを意味するという。それを応用するなら「ほんま BIG LOVE やで」「まじ BIG LOVE すぎるんだけど！」神からのそんなメッセージを心に留めて、今年も歩んでいきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年1月12日

礼拝出席 大人8名 献金 大人8,000円 中継視聴者数6回 感謝

◎次週 2025年1月26日(日) 河内地区講壇交換礼拝(降誕節 第5主日礼拝)

招きの詞 詩編 29編 2節

聖書 ヨハネによる福音書 5章 1-9節

メッセージ 「君の目的は。」池田優希牧師(八尾教会)

賛美歌 21-57番(©JASRAC)、21-575番(©JASRAC)、21-486番(©JASRAC)

礼拝後の午後、14時から、久宝教会を会場にして、河内地区女性会が開催されます。短い礼拝とお茶、簡単な制作などを行う予定です。「女性会」という名称ですが、どなたでも参加歓迎ですので、どうぞご参加ください。

◎お知らせ

- ・昨日、和歌山県かつらぎ町にある大浦農園に、大人4人と子ども1人で「縁農」に行っておきました。天候に守られ暖かい日差しの中、玉ねぎの苗つけ作業のお手伝いをさせて頂きました。次回は今週25日に釜ヶ崎・いこい食堂の方々が参加されるということです。どうもありがとうございました。
- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を致します。どなたでもどうぞご参加ください。また献品も随時、歓迎いたします。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・今週1月24日(金)18:30~20:45にかけて、在日大韓基督教会 大阪教会(大阪市生野区中川西2-5-11・地下鉄「今里駅」から徒歩10分)にて、「外国人住民基本法の制定を求める2025年第39回全国キリスト者集会 地域から多民族・多文化共生の天幕をひろげよう」が開催されます。会場での対面参加と共にオンラインでも参加することができます。<第一部>礼拝メッセージ:前田万葉さん、<第二部>パネルディスカッション:関西代表者会議「多民族・多文化共生の社会と教会をめざして」。なお前日23日(木)19:00~20:30にかけても、李相勲さんによる公開講演会が開催されています。会場に参加される方は事前申し込み不要です。公開講演会、全国集会にオンラインで参加希望の方は、下記のURLより、お申込みください。
<https://forms.gle/H9LxkeQCLzwA13169>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/26	池田優希牧師 (八尾教会)	河内地区有志教会講壇交換礼拝 誕生者祝福式 河内地区女性会(@久宝教会) (14時~ 久宝教会・牛田牧師)
2/2	牛田匡牧師	ユークリスト・教会を考える会
2/9	永富美加牧師 (いずみ教会)	(信教の自由を守る日) 「労伝デイ」講壇交換礼拝
2/16	水谷憲牧師	

外国人住民基本法の制定を求める2025年
第39回全国キリスト者集会
地域から多民族・多文化共生の天幕をひろげよう
2025年1月24日(金) 18:30~8:45
対面とオンライン
会場: 在日大韓基督教会大阪教会
(大阪市生野区中川西2-5-11/地下鉄「今里駅」から徒歩10分)

第一部 6:30~7:00 礼拝
◇メッセージ 前田万葉さん (カトリック大阪高松大司教区枢機卿)

第二部 7:10~8:45 パネルディスカッション 関西代表者会議
「多民族・多文化共生の社会と教会をめざして」
◇コーディネーター 伊藤 啓さん (日本キリスト教団連中会連盟)
◇パネラー 風取保之さん (日本基督教団大阪府会連盟) 藤守 尚さん (在日大韓基督教会幹事) 船瀬 謙さん (カトリック大阪高松大司教区シナヒセンター長) 下川 優也さん (日本バプテスト連盟関西地方教会連合会)

◇韓国基督教教会協議会からの連帯メッセージ
◇「アビール2025」朗読

●23日(木)の公開集会、24日(金)の全国集会に、オンラインで参加する方は下記のURLかQRコードよりお申し込みください。
URL: <https://forms.gle/H9LxkeQCLzwA13169>

※会場・対面にてご参加の方は、お申し込み不要です。直接会場へお越しください。

主催 ●外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外牛協)
主催 ●外国人との共生をめざす関西キリスト教代表者会議(関西代表者会議)
外国人との共生をめざす関西キリスト教連絡協議会(関西外牛協)
連絡先 ▶ 〒169-0051 東京都板橋区西原田2-3-18 日本キリスト教団52号館
電話: (03) 3203-7975 E-mail: raik@kccj.jp <https://gaikikyo.jp/>